

平成 16 年 3 月期 第 1 四半期業績の概況（連結）

平成 15 年 8 月 7 日

上場会社名 株式会社イーエムシステムズ

（コード番号：4820 東証第二部）

（URL <http://www.emsystems.co.jp/>）

代表者 役職・氏名 代表取締役社長 國光 浩三

問合せ先責任者 役職・氏名 取締役管理本部長 田中 英次

（TEL：(06) - 6397 - 1888）

1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

売上高（又はこれに相当する事項）の会計処理 : 無
 の方法の最近連結会計年度における認識の方法との相違の有無

2. 平成 16 年 3 月期第 1 四半期業績の概況（平成 15 年 4 月 1 日 ~ 平成 15 年 6 月 30 日）

（1）売上高（又はこれに相当する事項）

	（百万円未満切捨）	
	百万円	%
16 年 3 月期第 1 四半期	1,761	(6.9)
15 年 3 月期第 1 四半期	1,647	(-)
(参考)15 年 3 月期	7,468	(23.7)

（注）売上高（又はこれに相当する事項）は、当該四半期までの累計値であります。

パーセント表示は、前年同四半期比増減率を示しております。

平成 15 年 3 月期第 1 四半期の前年同四半期増減比率については、前々年同四半期の売上高を算出しておりませんので、記載を省略しております。

〔製品分類別売上高〕

	平成 15 年 3 月期 第 1 四半期		平成 16 年 3 月期 第 1 四半期		
	金額（百万円）	構成比（%）	金額（百万円）	構成比（%）	
調剤薬局向けシステム事業及びその関連事業	調剤システム	1,102	66.9	1,027	58.3
	医科システム	16	1.0	61	3.5
	ネットワークシステム	-	-	12	0.7
	サプライ	192	11.6	242	13.8
	保守サービス	27	1.7	32	1.8
計	1,338	81.2	1,375	78.1	
調剤薬局事業	309	18.8	386	21.9	
合計	1,647	100.0	1,761	100.0	

〔売上高（又はこれに相当する事項）に関する補足説明〕

当該四半期につきましては、平成 15 年 4 月の医療制度改正による患者個人負担増が、来局患者数の減少を引き起こしたことから、調剤薬局の設備投資の減少につながりました。しかし、医薬分業率は全国平均で 50% を超え、医薬分業は着実に進んでおります。その状況下で、調剤薬局のさらなる経営の合理化、効率化への要望は高まっており、調剤薬局業務全体を支援するシステムが求められております。当該四半期における売上高は 1,761 百万円となりました。

（調剤薬局向けシステム事業及びその関連事業）

医療制度改正により、調剤薬局の経営状況が厳しくなり設備投資が減少する中、当社は、主力システム「EM Receipty」のオプションシステムとして、6 月初めに発売した省スペース薬袋発行プリンタ「Yakty MP-7」や調剤薬局情報共有化システム「NET-」により、他社製品との製品構成と機能面での差別化を図ることで、他社製品からのリプレースによるシェアアップを推し進めてまいりましたが、本年 2 月にリリースした ASP を利用した調剤薬局情報共有化システム「NET-」は、ユーザーによりよいサービスをご提供できるよう、4 月から 6 月まで機能向上のための設備補強を行ったことで、当該四半期の受注分は、第 2 四半期での再度の出荷となります。その結果、当該四半期の売上高は 1,375 百万円となりました。

(調剤薬局事業)

医療制度改正による来局患者数の減少が懸念される中、売上高は 386 百万円となりました。主な要因としましては、前期に新規開局した 2 店舗の経営が軌道に乗ったことと合わせて、梅田北薬局の来局数の増加が売上高の増加につながりました。梅田北薬局は、大規模病院の門前薬局での競合が厳しい中、立地、薬剤師のレベル、漢方薬局併設など複合サービスが患者に高く評価され、処方箋枚数の増加につながりました。

(2) 当該四半期において企業集団の財政状態及び経営成績に重要な影響を与えた事象

該当事項はありません。

3. 平成 16 年 3 月期の連結業績予想 (平成 15 年 4 月 1 日 ~ 平成 16 年 3 月 31 日)

	予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益	1株当たり予想当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
中間期	4,074	290	162	23 71
通期	8,416	815	455	64 36

[業績予想に関する定性的情報等]

当該四半期における売上高は、調剤薬局事業は順調な状況でありました。また、調剤薬局向けシステム事業及びその関連事業は、「NET-」の機能向上のための設備補強を行ったことで、当該四半期の受注分は、第 2 四半期での出荷となり、さらに、新製品の投入効果もあることから業績予想につきましては、当初予想に修正はありません。

(注) 業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであります。予想にはさまざまな不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。

以 上

平成 16 年 3 月期 第 1 四半期業績の概況（個別）

平成 15 年 8 月 7 日

上場会社名 株式会社イーエムシステムズ

(コード番号：4820 東証第二部)

(URL <http://www.emsystems.co.jp/>)

代表者 役職・氏名 代表取締役社長 國光 浩三

問合せ先責任者 役職・氏名 取締役管理本部長 田中 英次

(TEL：(06) - 6397 - 1888)

1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

売上高（又はこれに相当する事項）の会計処理 : 無
 の方法の最近連結会計年度における認識の方法との相違の有無

2. 平成 16 年 3 月期第 1 四半期業績の概況（平成 15 年 4 月 1 日 ~ 平成 15 年 6 月 30 日）

(1) 売上高（又はこれに相当する事項）

	(百万円未満切捨)	
	百万円	%
16 年 3 月期第 1 四半期	1,378	(2.6)
15 年 3 月期第 1 四半期	1,343	(-)
(参考)15 年 3 月期	6,101	(17.8)

(注) 売上高（又はこれに相当する事項）は、当該四半期までの累計値であります。

パーセント表示は、前年同四半期比増減率を示しております。

平成 15 年 3 月期第 1 四半期の前年同四半期増減比率については、前々年同四半期の売上高を算出しておりませんので、記載を省略しております。

[売上高（又はこれに相当する事項）に関する補足説明]

当該四半期につきましては、第 1 四半期業績の概況（連結）の [売上高に関する補足説明] (調剤薬局向けシステム事業及びその関連事業) に記載のとおりでありますので、個別での記載を省略しております。

(2) 当該四半期において企業集団の財政状態及び経営成績に重要な影響を与えた事象

該当事項はありません。

3. 平成 16 年 3 月期の業績予想（平成 15 年 4 月 1 日 ~ 平成 16 年 3 月 31 日）

	予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益	1株当たり予想当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
中間期	3,333	268	150	21 99
通期	6,911	763	427	60 29

[業績予想に関する定性的情報等]

当該四半期における売上高は「NET-」の機能向上のための設備補強を行ったことで、当該四半期の受注分は、第 2 四半期での出荷となり、新製品の投入効果もあることから業績予想につきましては、当初予想に修正はありません。

(注) 業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであります。予想にはさまざまな不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。

以上